

大阪音楽大学

2026年度 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表（合計20単位）

担当教員名	区分	科目名	単位数	授業内容（どのような経験を持ち、どのような授業を行うか）
江南泰佐	一般教育	メディア論入門	2	多年にわたりラジオ放送の企画、台本作成、DJに携わった経験に基づき、アート、メディアアート、社会学などを横断しながらメディアのイメージをつかみ、音楽家として表現すること＝自ら情報を発信することについて講義する。
江南泰佐	専門教育 (共通)	メディア論	1	多年にわたりラジオ放送の企画、台本作成、DJに携わった経験に基づき、実際の番組制作のプロセスを基礎知識を踏まえながら演習形式で指導する。
江南泰佐	専門教育 (共通)	音楽ジャーナリズム	1	多年にわたりラジオ放送の企画、台本作成、DJに携わった経験に基づき、音楽ジャーナリズムの流れと現状についての基本事項を踏まえながら学生が音楽批評の特集を企画し、提案・執筆・編集する作業を指導する。
宮岡利行	専門教育 (共通)	ピアノ構造論	2	民間企業に所属する一級ピアノ調律技能士として様々な現場の調律に携わってきた経験に基づき、ピアノの歴史的変遷やその構造・機能等について演奏者技術の向上に役立てることができるよう講義する。
梶田美奈子	専門教育 (共通)	音楽療法概説Ⅰ	2	多年にわたりリハビリテーション病院専門職として、また地域ボランティアとしてミュージックセラピーを展開している経験に基づき、「音で人を元気にする音楽療法とは何か」また音楽療法における音楽の効用等、「より良く生きる」を支えるためにさまざまな目的に応じて行われる音楽療法の基本的な理念・知識を講義する。
梶田美奈子	専門教育 (共通)	音楽療法概説Ⅱ	2	多年にわたり、リハビリテーション病院専門職として、また地域ボランティアとしてミュージックセラピーを展開してきた経験に基づき、様々な領域における音楽療法実践や楽曲に関する基礎的な内容や国内外の音楽療法の現状・今後の展望について講義する。
河村美帆	専門教育 (共通)	音楽療法概説Ⅱ	2	障害者支援施設や就学前の子どもへの音楽療法、高齢者デイケアセンター等で音楽療法を行ってきた経験や、臨床心理学的視点に基づき、音楽療法における音楽の使い方や楽器の使い方について講義し、音楽療法への理解を深めるよう指導する。
河村美帆	専門教育 (共通)	音楽療法（発達）	2	障害者支援施設や就学前の子どもへの音楽療法、高齢者デイケアセンターでの音楽療法実践を通して対象者理解を深めるよう指導する。また、臨床心理学的視点に基づき、受講者が乳幼児・学齢期・青年期の子どものころや身体の発達、また、障害や疾病について理解を深めるよう指導する。
河村美帆	専門教育 (共通)	音楽療法（心理療法・芸術療法）	2	障害者支援施設や就学前の子ども、高齢者デイケアセンターで音楽療法を行ってきた経験や、臨床心理学的視点に基づき、受講者が「音楽を用いた心理療法」として音楽療法をとらえ、心理療法の視点からセラピスト（自己）とクライアント（他者）を理解できるよう指導する。
河村美帆	専門教育 (共通)	音楽療法（高齢者）	2	障害者支援施設や就学前の子ども、高齢者デイケアセンターで音楽療法を行ってきた経験や、臨床心理学的視点に基づき、受講者が対象者別音楽療法の実際について事例を通して理解できるよう指導する。また、ロールプレイなどを通してその理解を深めるようにする。
河村美帆	専門教育 (共通)	音楽療法D	2	障害者支援施設や就学前の子ども、高齢者デイケアセンターで音楽療法を行ってきた経験や、臨床心理学的視点に基づき、歌や曲を用いるときに「何を」「如何に」演奏していくかを具体的に理解できるよう指導する。また、音楽療法を実践するにあたっての留意点、倫理などを講義する。